

高齢者の福祉・介護に関するアンケート調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査） 結果概要について

1 高齢者の福祉・介護に関するアンケート調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）概要

（1）調査目的

日常生活圏域ごとの高齢者の生活実態にあった介護（予防）サービスなど、各種福祉サービス等に関する現状を把握し、これらを分析し、「青森市高齢者福祉・介護保険事業計画 第7期計画（平成30年度～平成32年度）」策定に向けた基礎資料とする。

（2）調査の実施時期

平成28年12月21日～平成29年1月6日

集計対象：2月24日まで市に到着したもの

（3）調査対象者

平成28年11月1日現在、65歳以上及び40歳以上64歳以下の市民のうち、無作為に抽出した方

○第1号被保険者（65歳～） 8,000名

国の考え方にに基づき、要介護1から5の高齢者を除く

○第2号被保険者（40歳～64歳） 1,000名

（4）実施方法

○郵送配布、郵送回収（年齢階層ごとに市内11圏域の人口比で抽出）

○郵送未回収者に対する訪問調査

（5）高齢者の福祉・介護に関するアンケート調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）の構成

○国が示す調査項目及び市独自の調査項目で構成

■調査項目

- ①あなたのご家族や生活状況について
- ②からだを動かすことについて
- ③食えることについて
- ④毎日の生活について
- ⑤地域での活動について
- ⑥たすけあいについて
- ⑦健康について
- ⑧日常生活全般について
- ⑨介護予防について
- ⑩介護保険制度全般について
- ⑪地域包括支援センターについて
- ⑫自由記載欄

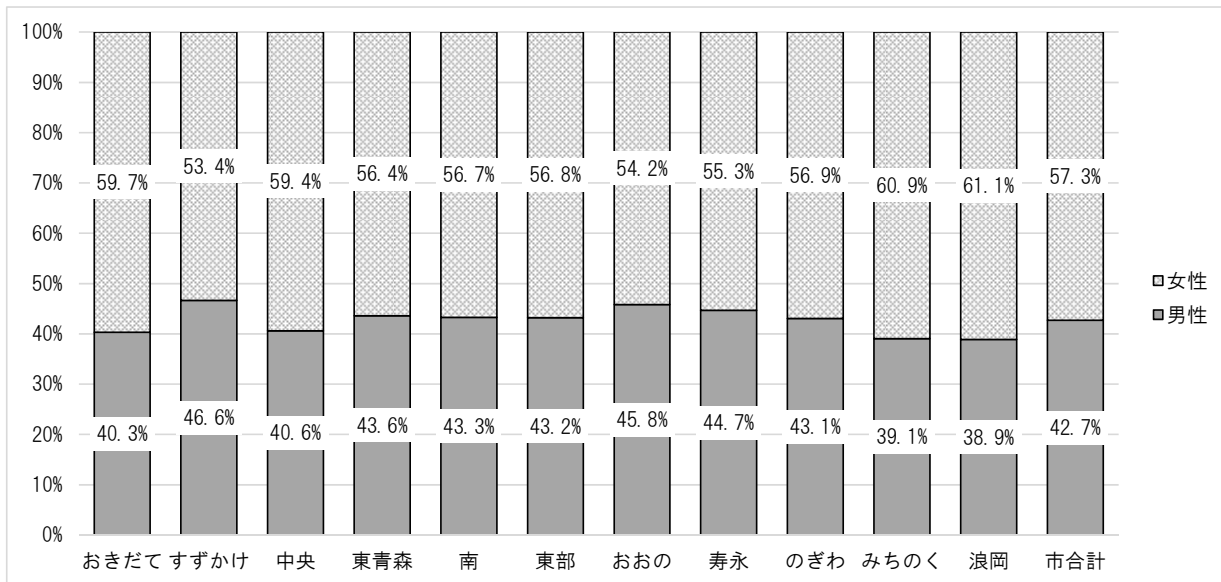
(6) 調査数及び回収数

(単位：人、件)

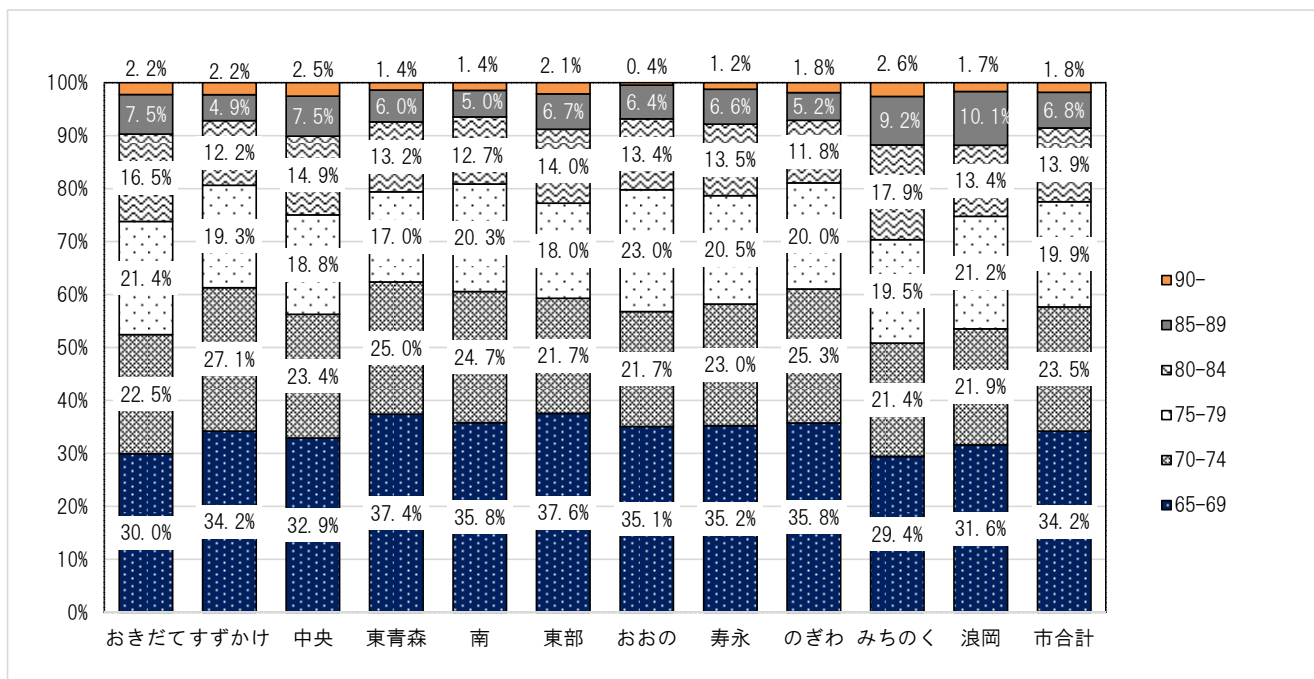
調査種別	圏域	対象者数	圏域 配布数	回収数	回収率	信頼度95% サンプル数
65歳以上	全体	70,768	8,000	5,170	64.6%	3,983
	1 おきだて	6,649	703	454	64.6%	363
	2 すずかけ	7,358	752	491	65.3%	365
	3 中央	6,593	745	517	69.4%	363
	4 東青森	6,978	739	500	67.7%	364
	5 南	6,947	786	497	63.2%	364
	6 東部	6,737	761	479	62.9%	363
	7 おおの	7,199	712	456	64.0%	365
	8 寿永	6,602	746	488	65.4%	363
	9 のぎわ	5,985	726	439	60.5%	361
	10 みちのく	4,903	604	425	70.4%	356
	11 浪岡	4,817	726	424	58.4%	356
40～64歳	全体	101,944	1,000	452	45.2%	383

2 結果概要 (1) 回答者の属性 (65歳以上)

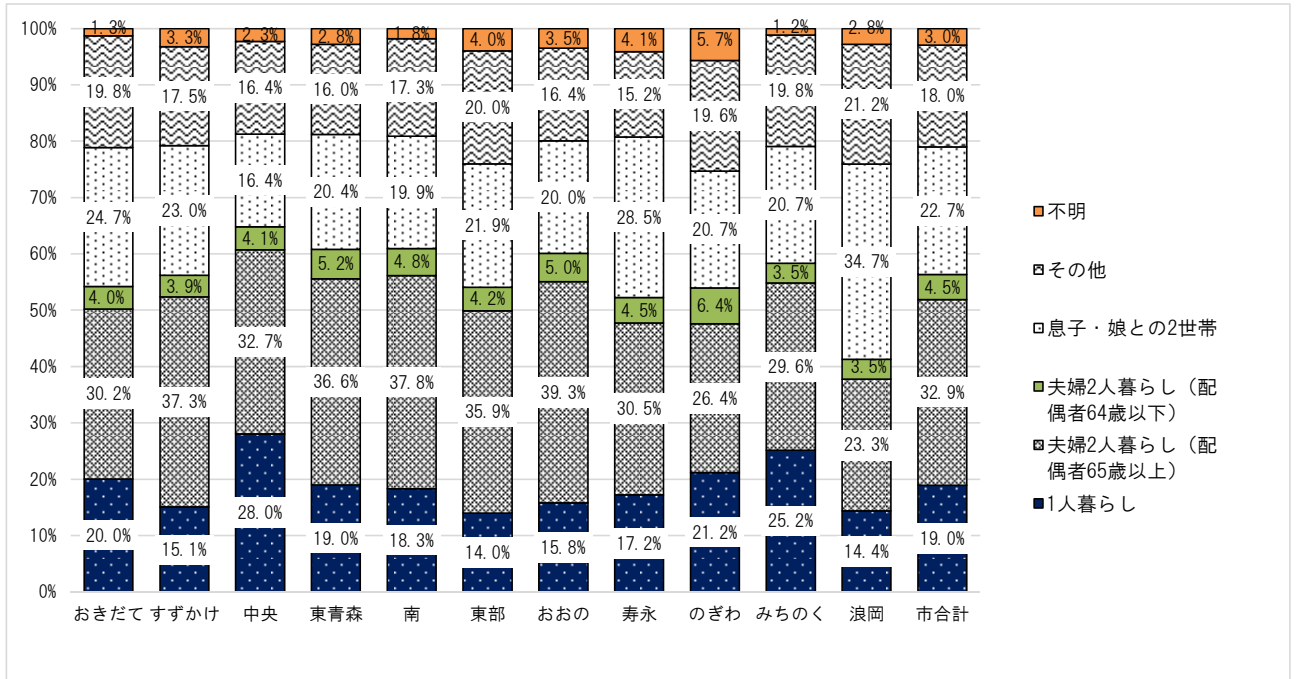
① 圏域別・性別の割合



② 圏域別・年齢別の割合

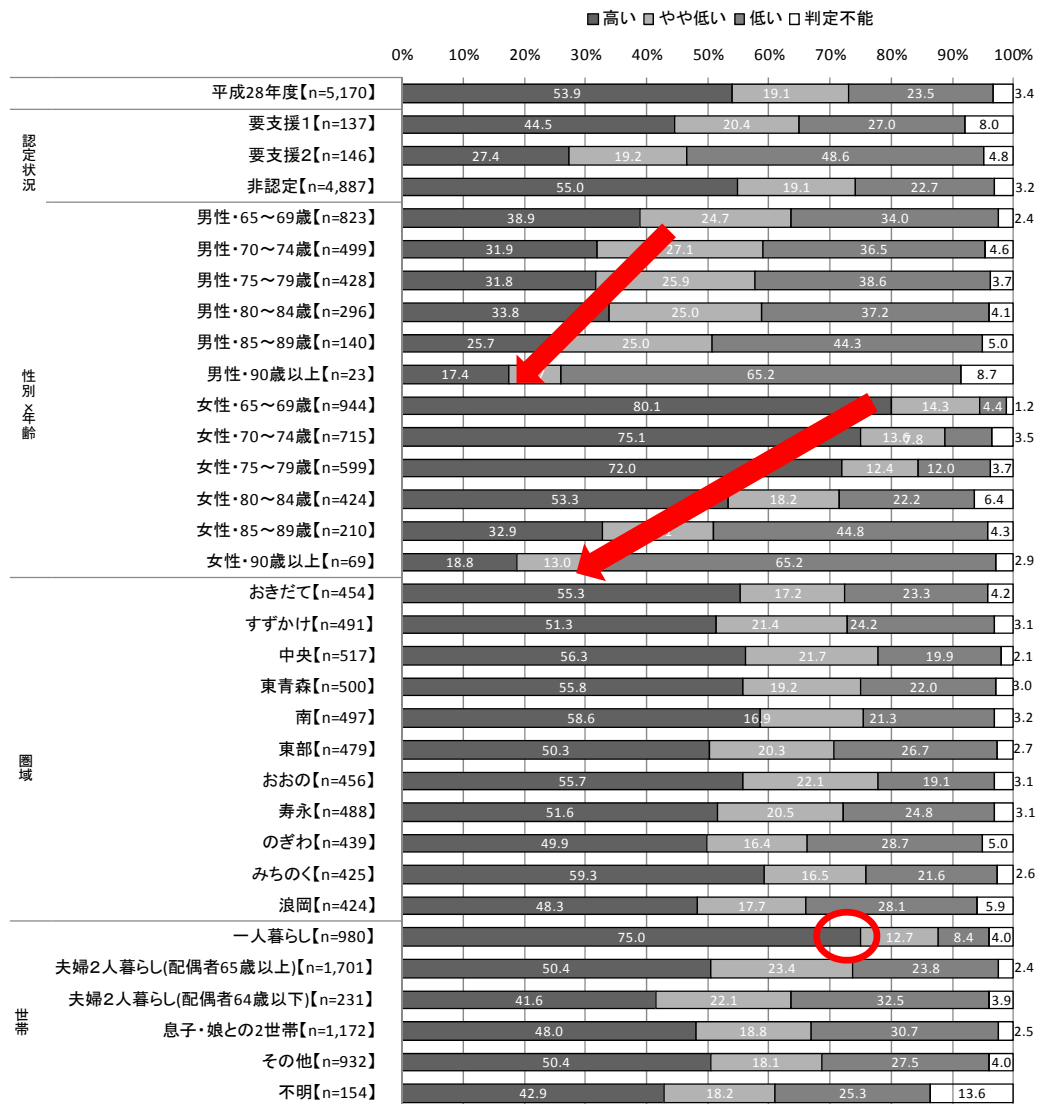


③ 圏域別・世帯構成の割合



2 結果概要 (2) 手段的ADL (手段的自立)

○手段的ADL (手段的自立) について、「加齢に伴い低下」し、「一人暮らしの世帯が高い」状況となっています。



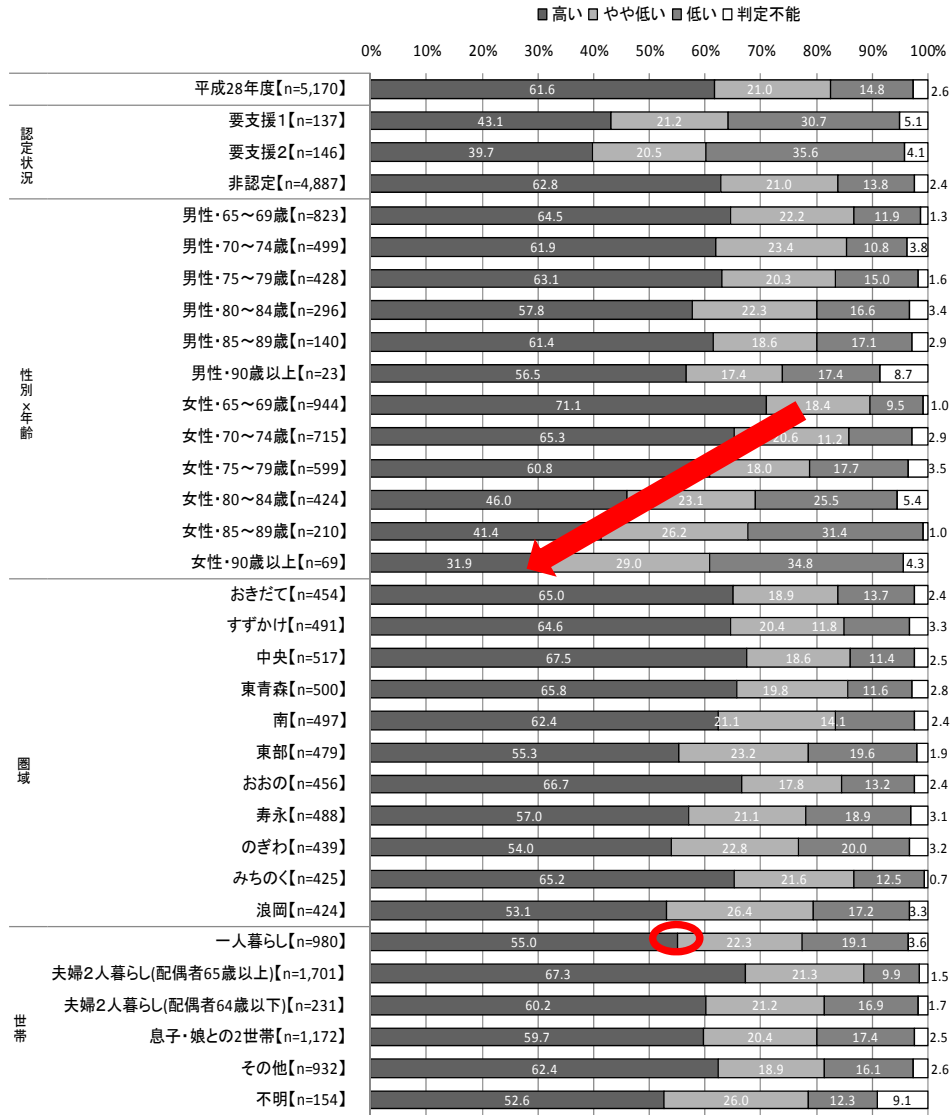
■評価に用いた設問と点数評価

設問	配点
問4(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している(1点)
問4(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している(1点)
問4(6) 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している(1点)
問4(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している(1点)
問4(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している(1点)

※手段的ADLの評価方法：上記5項目で5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価した。

2 結果概要 (3) 知的ADL (知的能動性)

○知的ADL (知的能動性) について、「加齢に伴い低下」し、「一人暮らし世帯がやや低い」状況となっています。



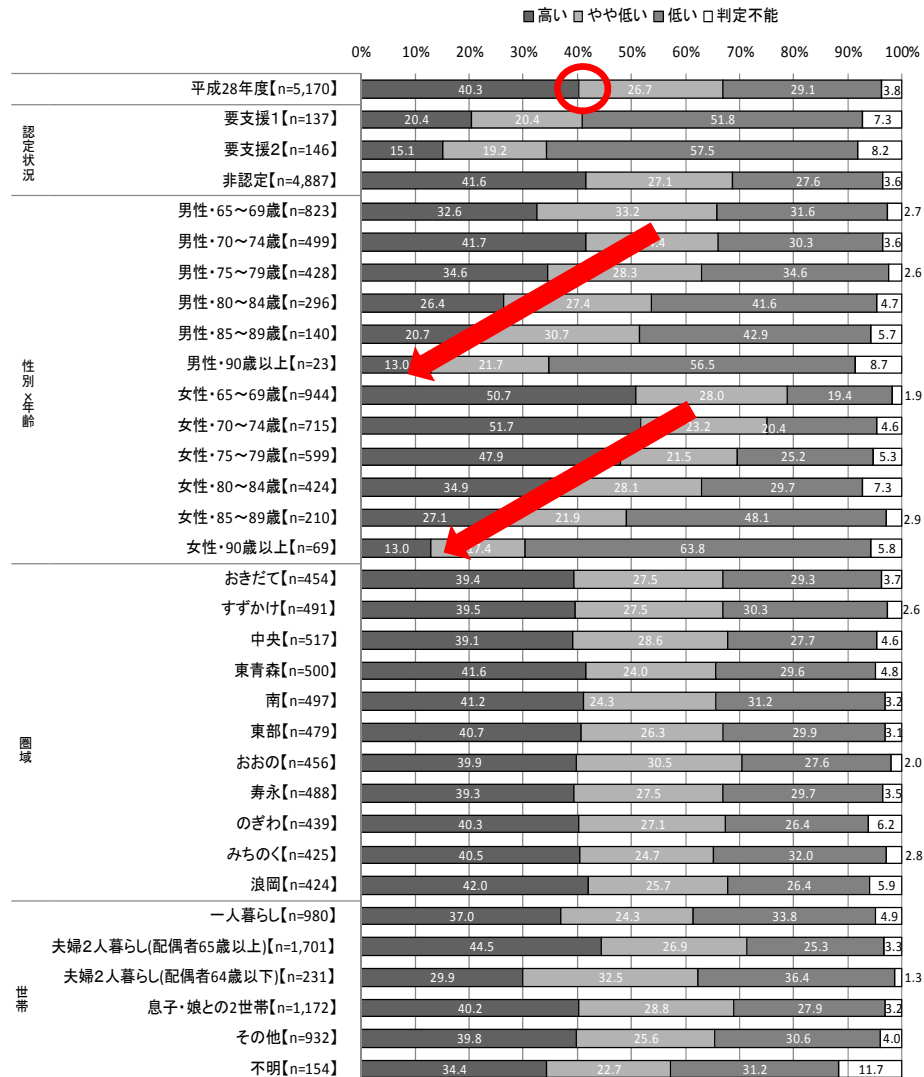
■評価に用いた設問と点数評価

設問	配点
問4(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい(1点)
問4(10) 新聞を読んでいますか	1. はい(1点)
問4(11) 本や雑誌を読んでいますか	1. はい(1点)
問4(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい(1点)

※知的ADLの評価方法：上記4項目で4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価した。

2 結果概要 (4) 社会的ADL (社会的役割)

○社会的ADL (社会的役割) は、手段的・知的ADLに比べ、「市全体において低く」、性別・年齢別では、「加齢に伴い低下」している状況となっています。



■評価に用いた設問と点数評価

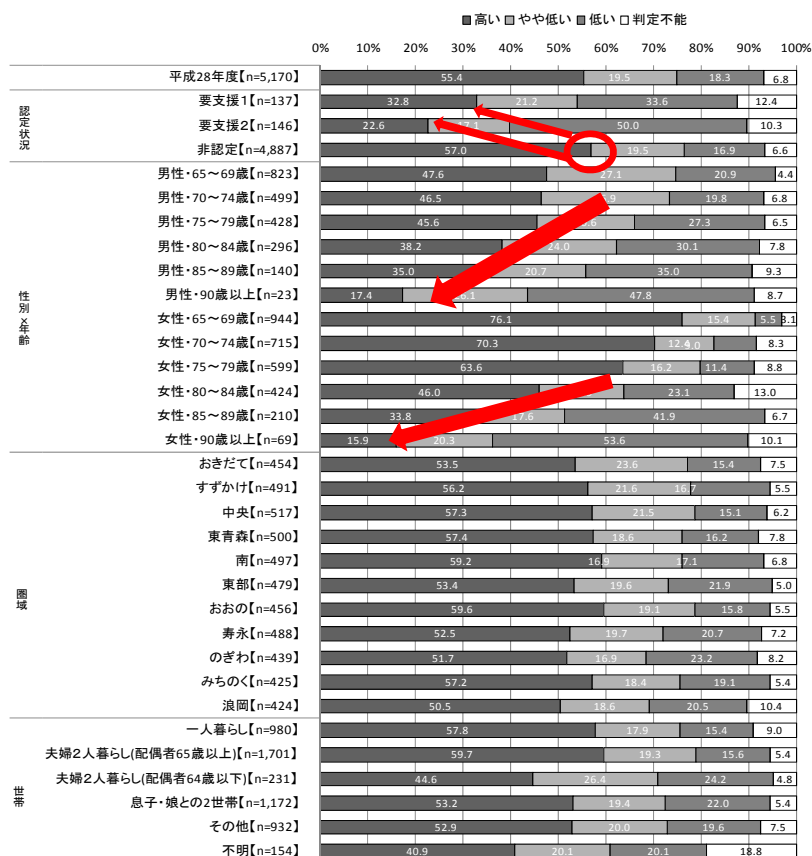
設問	配点
問4(13) 友人の家を訪ねていますか	1. はい(1点)
問4(14) 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい(1点)
問4(15) 病人を見舞うことができますか	1. はい(1点)
問4(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい(1点)

※社会的ADLの評価方法：上記4項目で4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価した。

2 結果概要 (5) 老研式指標総合評価 (手段的ADL、知的ADL、社会的ADL) <現状と課題>

○自立した生活を送ることができる能力について、総合的に評価した結果、「要支援1・2の者が非認定に比べ急激に低下」し、「加齢に伴い低下」している状況となっています。

⇒自立した生活を送ることができる能力の低下を防ぐため、健康づくりの強化・介護予防・認知症施策の推進 (手段的・知的ADLの向上)、社会活動への参加 (社会的ADLの向上) の促進とともに、日常生活圏域の実情に応じて、地域包括支援センターを中心とした地域包括ケアの充実が重要です。



■評価に用いた指標と判定方法

項目	点数
手段的ADL	0点～5点
知的ADL	0点～4点
社会的ADL	0点～4点

※活動的能力指標総合評価：上記3項目合計で11点以上を「高い」、9～10点を「やや低い」、8点以下を「低い」として評価している。

2 結果概要 (6) 日常生活圏域毎の状況

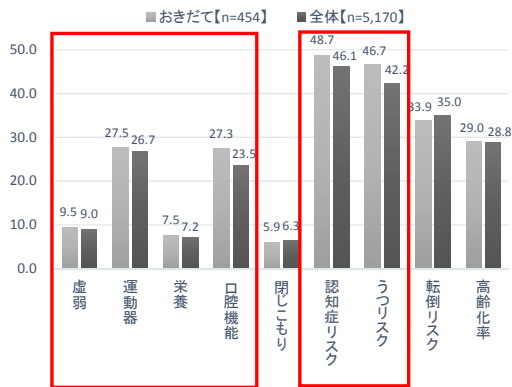
① おきだて地区 (平成 29 年 3 月 1 日現在)

圏域内住所：柳川、篠田、千刈、沖館、富田、新田、久須志、千富町 1 丁目

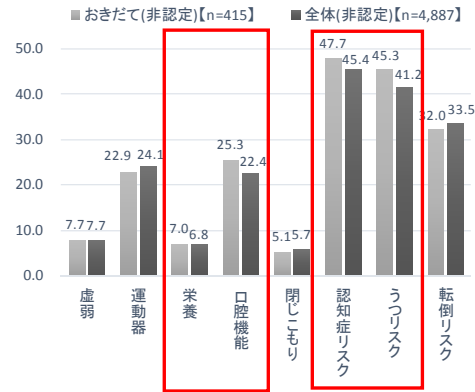
高齢者人口：7,794 人

高齢化率：29.0%

リスク該当者割合・高齢化率

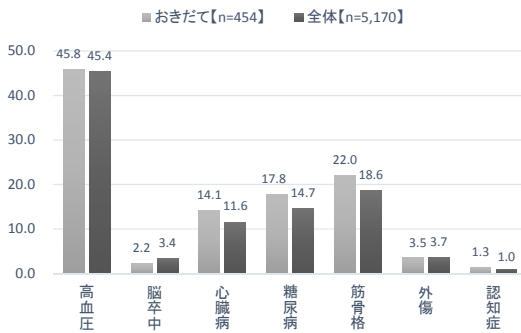


非認定者のリスク該当者割合

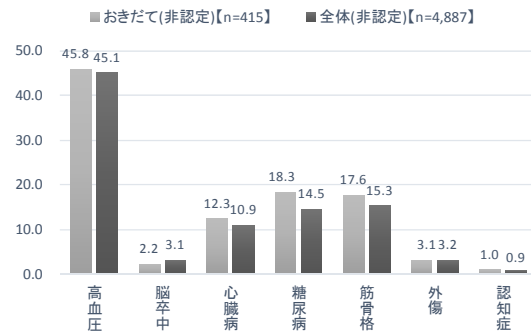


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

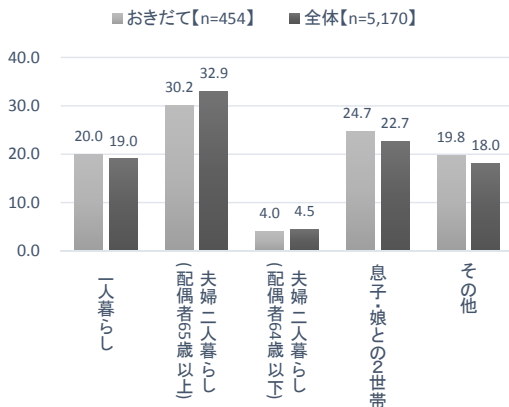
既往症割合



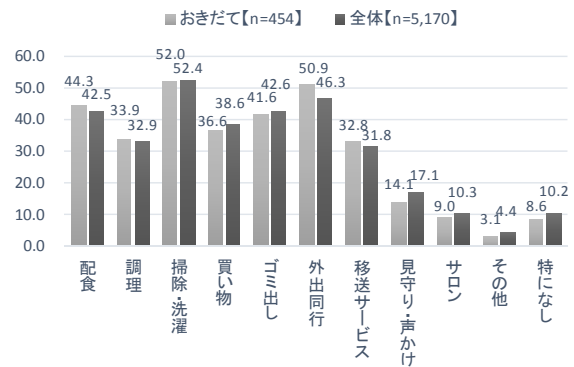
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



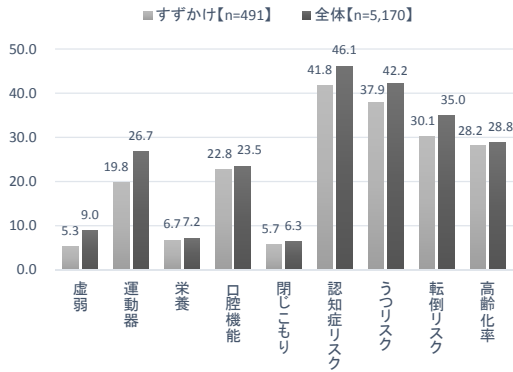
② すずかけ地区（平成 29 年 3 月 1 日現在）

圏域内住所：三内、石江、岩渡、里見、三好、西滝、西滝切島、西滝富永、新城平岡

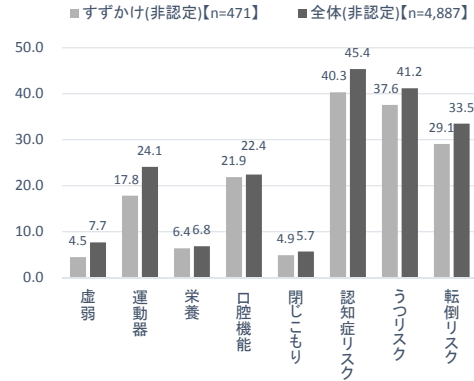
高齢者人口：8,466 人

高齢化率：28.2%

リスク該当者割合・高齢化率

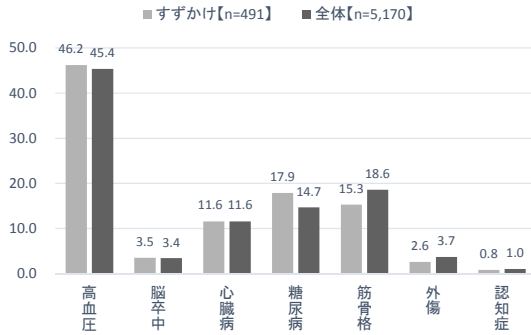


非認定者のリスク該当者割合

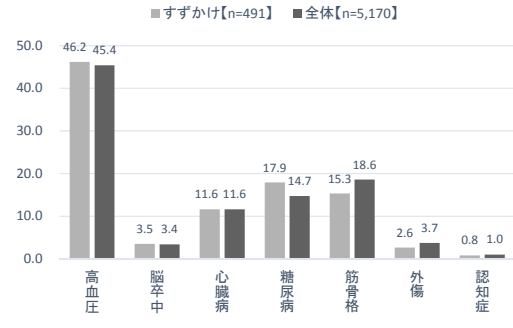


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

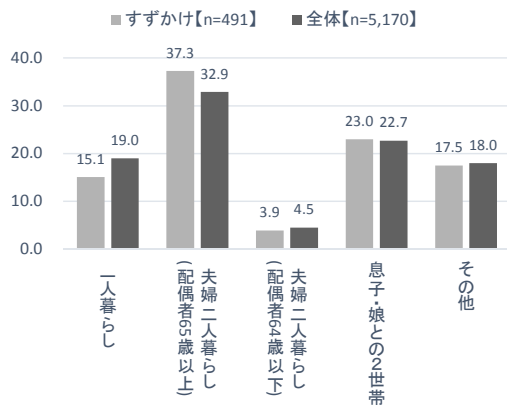
既往症割合



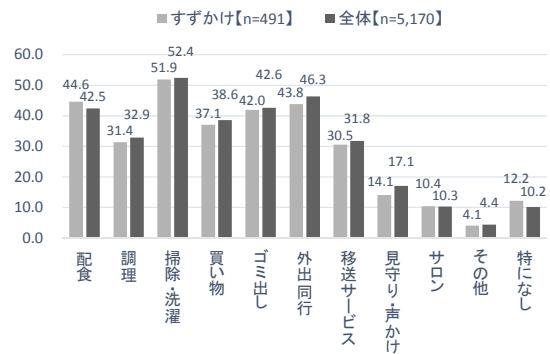
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



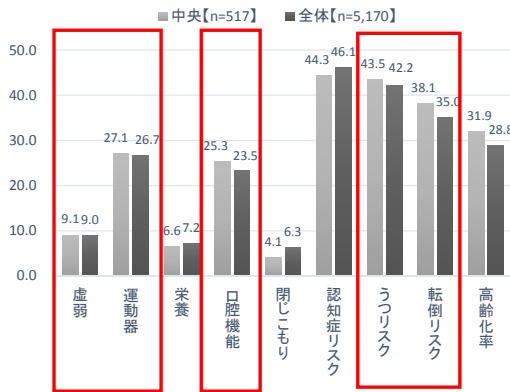
③ 中央地区（平成 29 年 3 月 1 日現在）

圏域内住所：安方、新町、古川、長島、中央、橋本、勝田、奥野、松原、堤町、青柳、本町

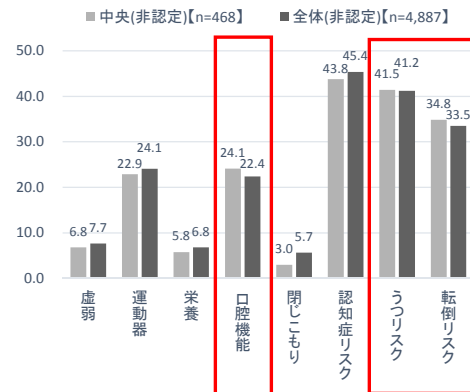
高齢者人口：7,991 人

高齢化率：31.9%

リスク該当者割合・高齢化率

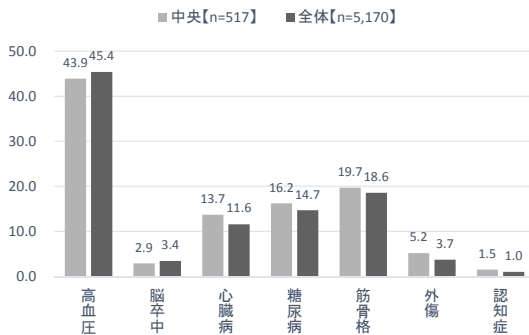


非認定者のリスク該当者割合

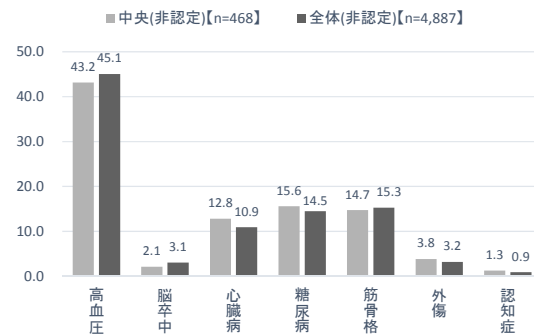


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

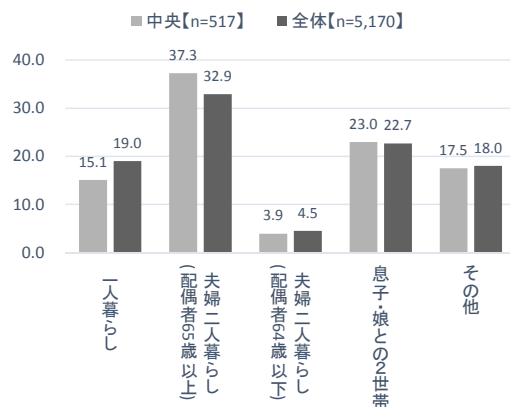
既往症割合



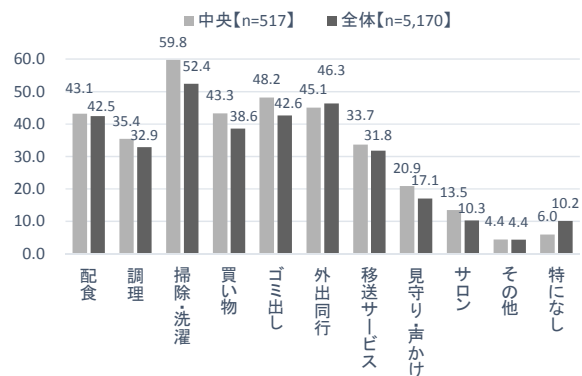
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



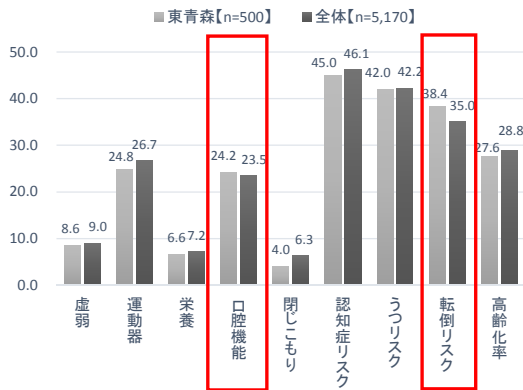
④ 東青森地区（平成 29 年 3 月 1 日現在）

圏域内住所：中佃、佃 2・3 丁目、南佃、岡造道、小柳、浜館 1～6 丁目、虹ヶ丘、自由ヶ丘、けやき、はまなす、古館 1 丁目、古館大柳、松森 2・3 丁目

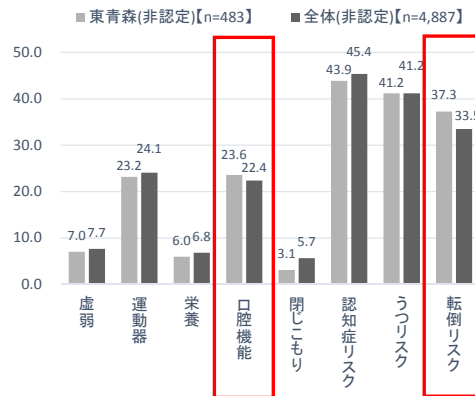
高齢者人口：6,110 人

高齢化率：27.6%

リスク該当者割合・高齢化率

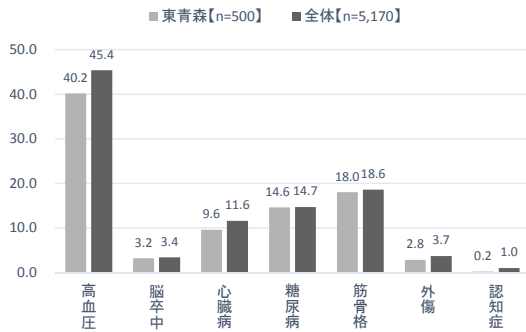


非認定者のリスク該当者割合

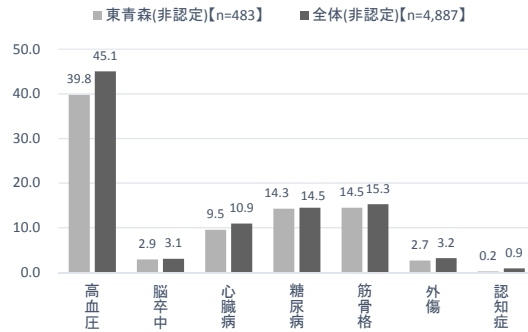


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

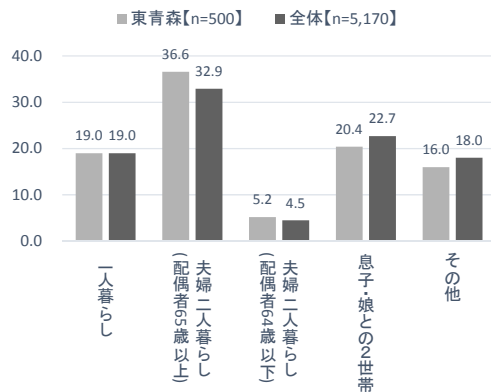
既往症割合



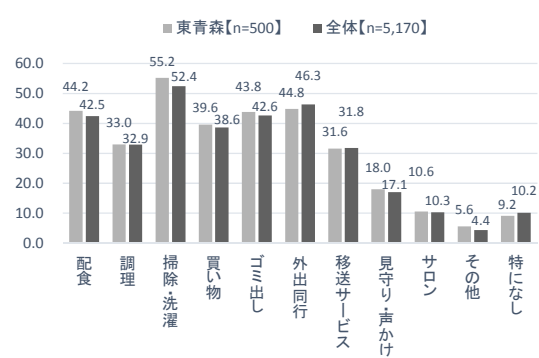
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



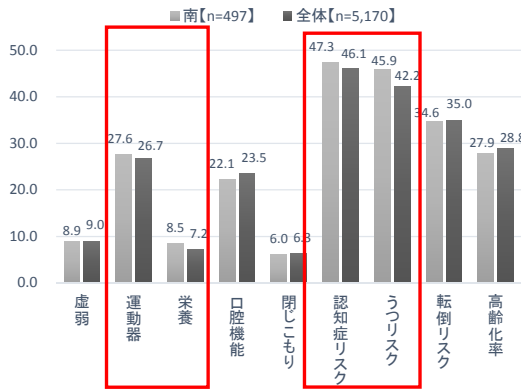
⑤ 南地区（平成 29 年 3 月 1 日現在）

圏域内住所：桜川（1 丁目を除く）、筒井、野尻、新町野、四ツ石、妙見、横内、雲谷、幸畑、大矢沢、合子沢、田茂木野、間屋町、卸町

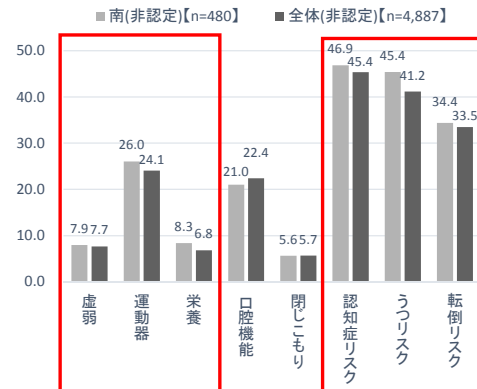
高齢者人口：8,408 人

高齢化率：27.9%

リスク該当者割合・高齢化率

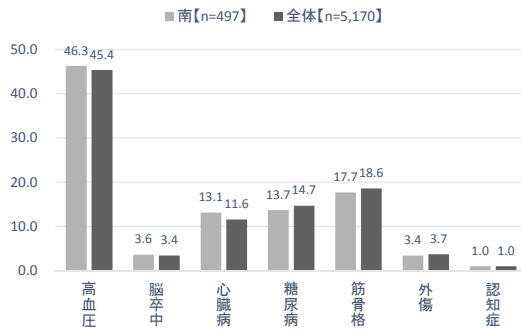


非認定者のリスク該当者割合

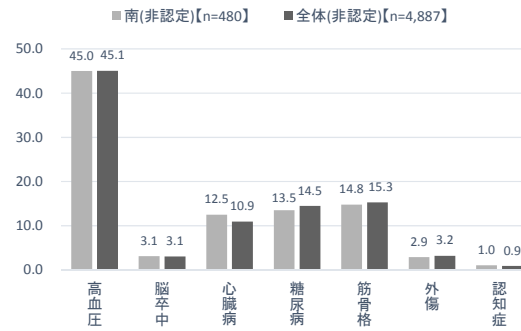


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

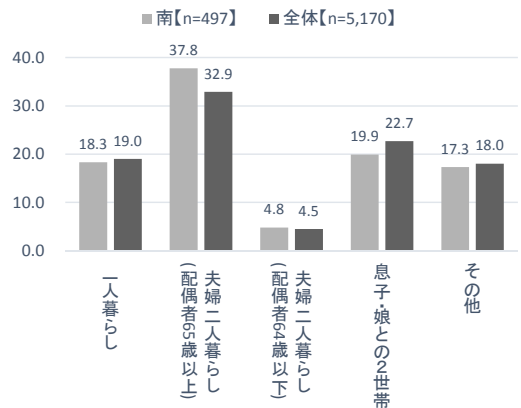
既往症割合



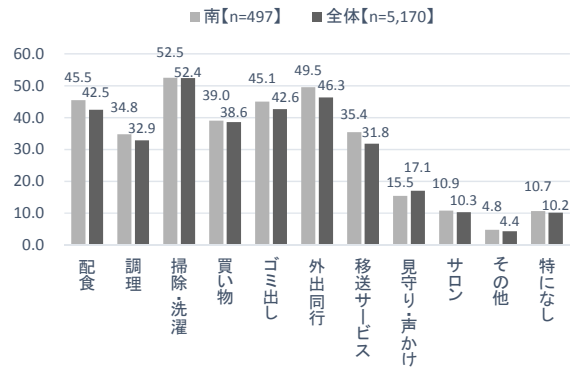
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



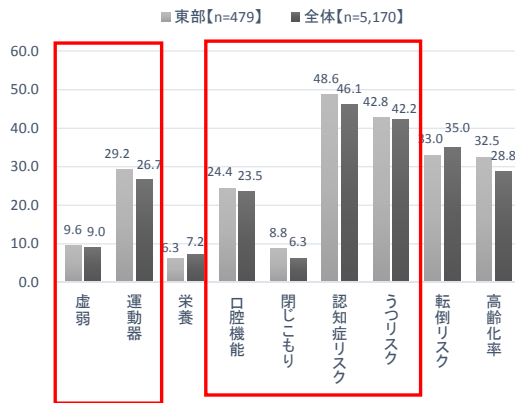
⑥ 東部地区（平成 29 年 3 月 1 日現在）

圏域内住所：浅虫、久栗坂、野内、滝沢、矢田前、平新田、原別、泉野、桑原、戸山、赤坂、戸崎、浜館、諏訪沢、駒込、蛭沢、月見野、矢田、田屋敷、築木館、馬屋尻、八幡林、宮田、本泉、矢作、後菟、三本木、沢山

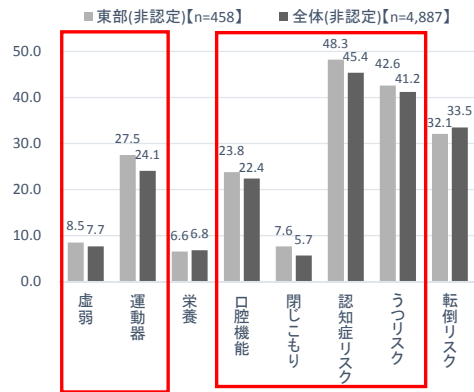
高齢者人口：7,970 人

高齢化率：32.5%

リスク該当者割合・高齢化率

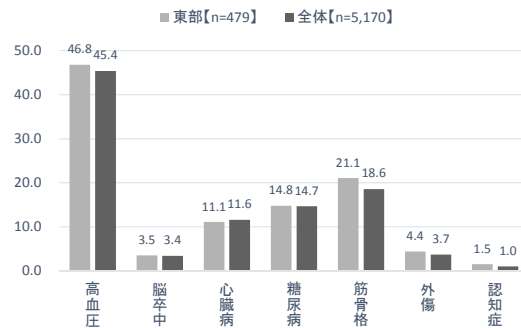


非認定者のリスク該当者割合

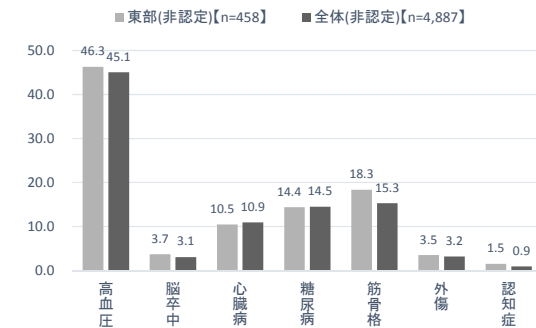


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

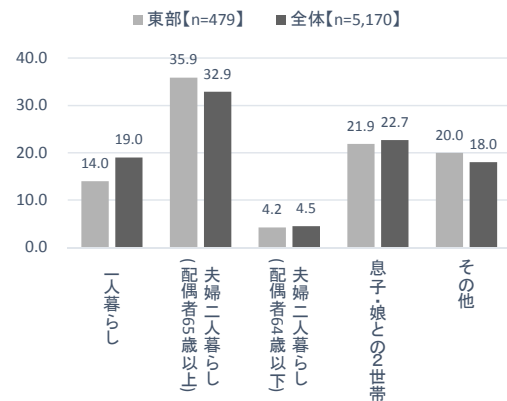
既往症割合



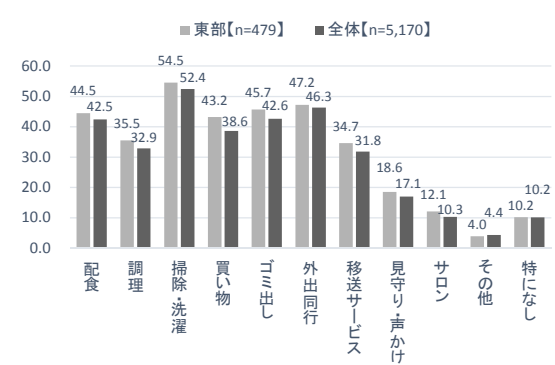
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



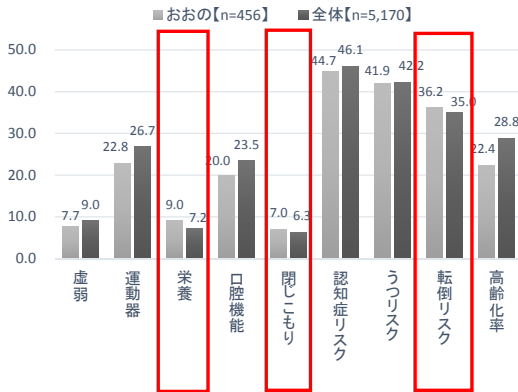
⑦ おおの地区（平成 29 年 3 月 1 日現在）

圏域内住所：旭町、浦町、大野、桂木、緑、青葉、金沢 1・3～4 丁目、北金沢 1 丁目、
浜田豊田、浜田玉川、浜田 1～3 丁目、東大野、西大野

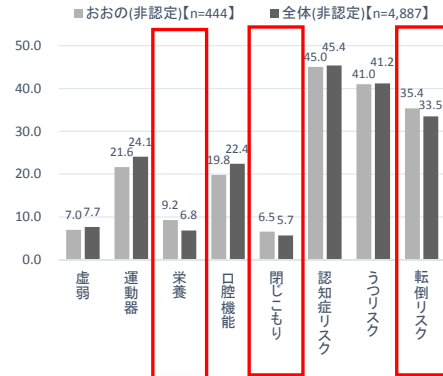
高齢者人口：8,465 人

高齢化率：22.4%

リスク該当者割合・高齢化率

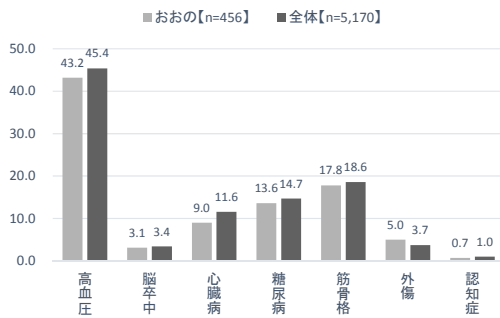


非認定者のリスク該当者割合

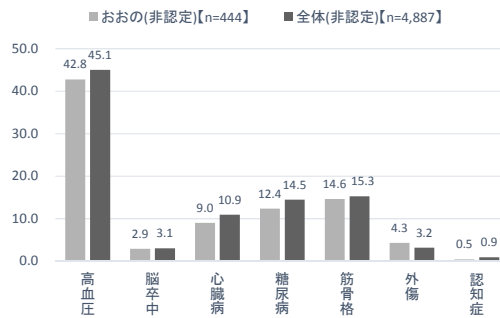


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

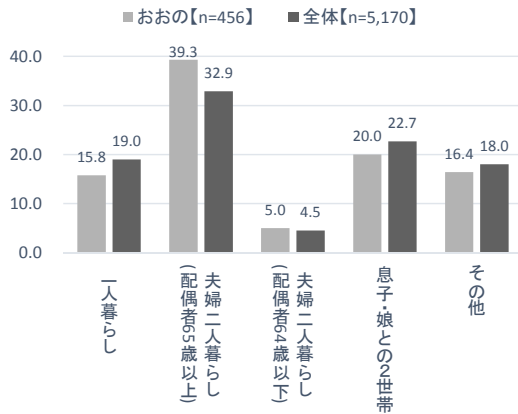
既往症割合



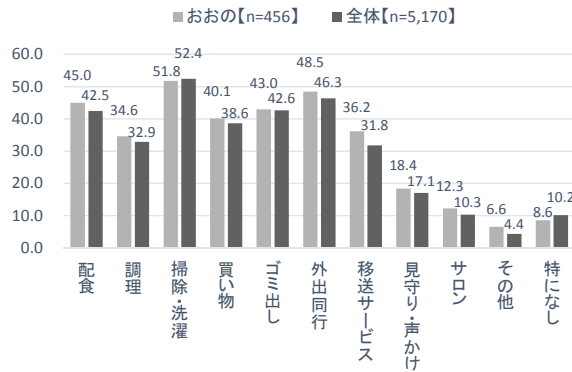
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



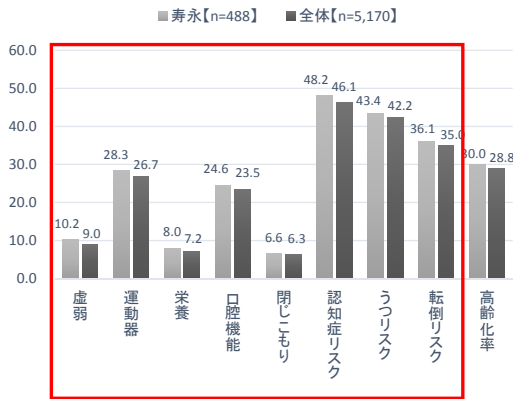
⑧ 寿永地区（平成 29 年 3 月 1 日現在）

圏域内住所：金沢 2・5 丁目、安田、浪館前田、細越、荒川、入内、浪館、金浜、高田、上野、小畑沢、小館、大谷、大別内、牛館、野沢、野木、八ツ役芦谷・上林第二問屋町、八ツ役矢作、北金沢 2 丁目、千富町 2 丁目

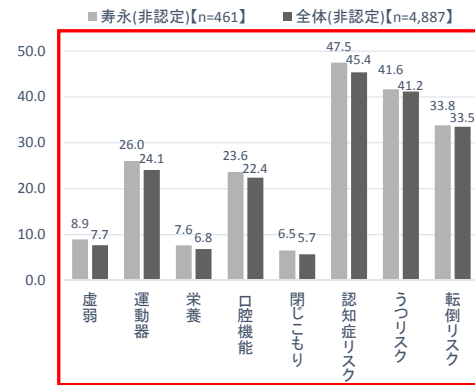
高齢者人口：7,730 人

高齢化率：30.0%

リスク該当者割合・高齢化率

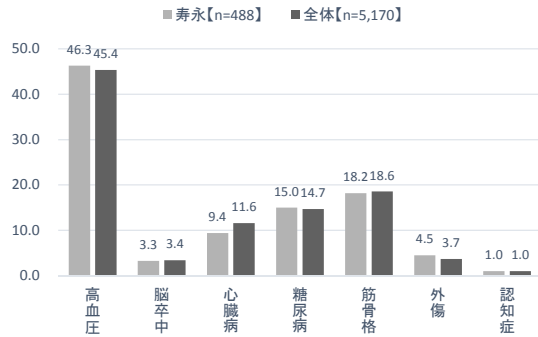


非認定者のリスク該当者割合

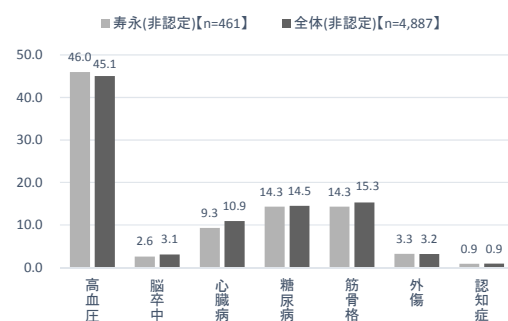


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

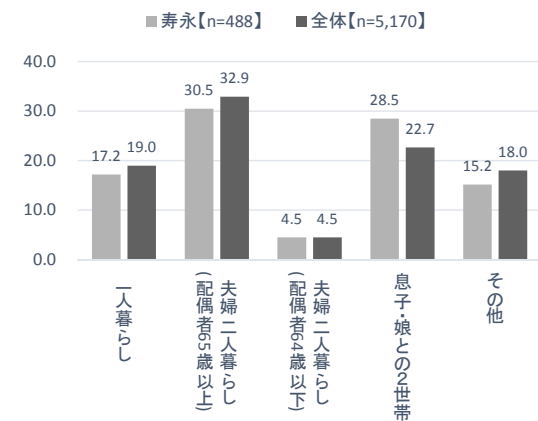
既往症割合



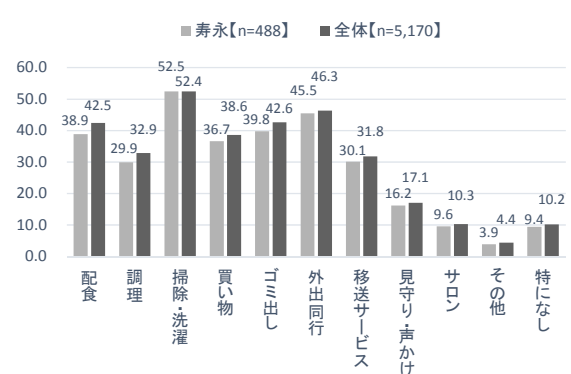
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



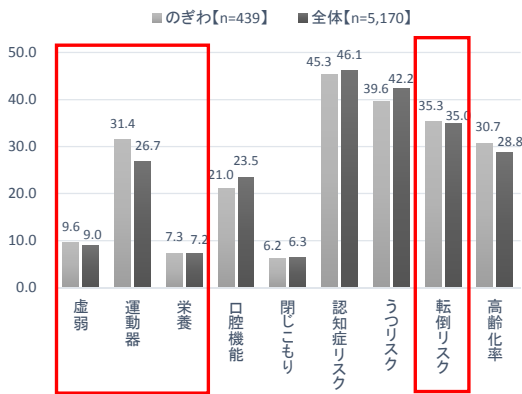
⑨ のぎわ地区（平成 29 年 3 月 1 日現在）

圏域内住所：油川、岡町、羽白、奥内、西田沢、清水、飛鳥、後潟、小橋、左堰、前田、
 新城福田・天田内・山田、鶴ヶ坂、戸門、孫内、内真部、瀬戸子、六枚橋、
 四戸橋

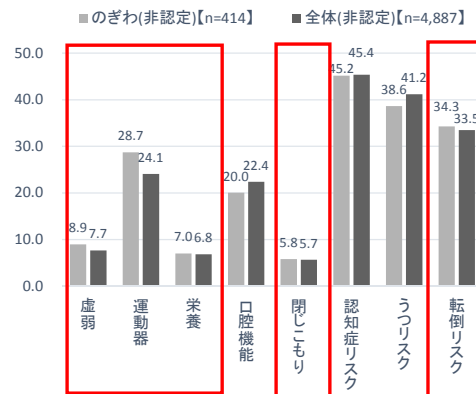
高齢者人口：6,979 人

高齢化率：30.7%

リスク該当者割合・高齢化率

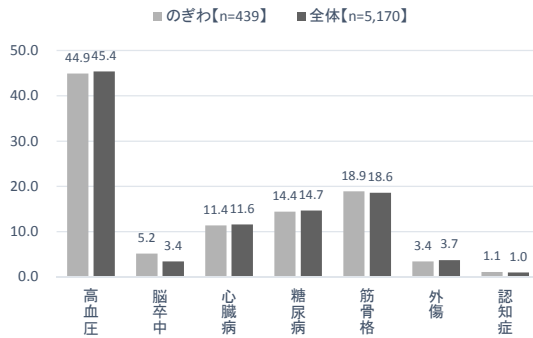


非認定者のリスク該当者割合

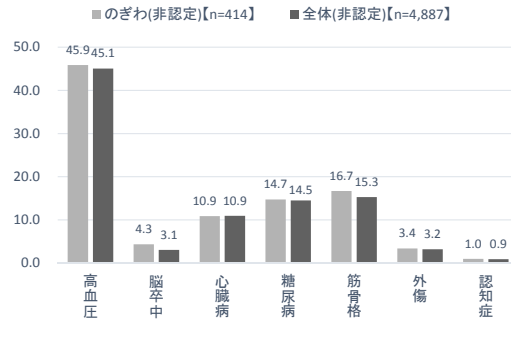


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

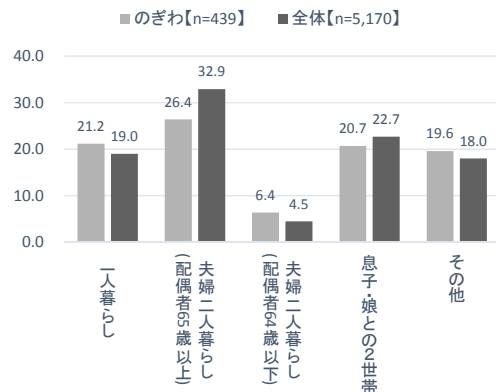
既往症割合



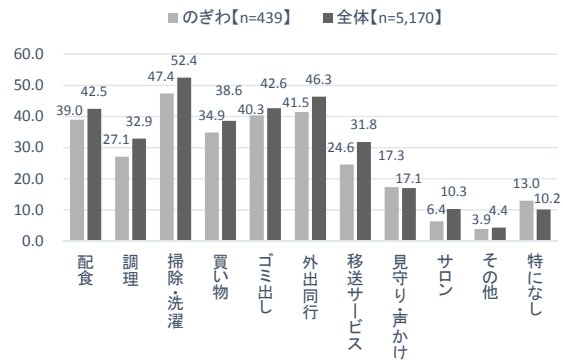
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



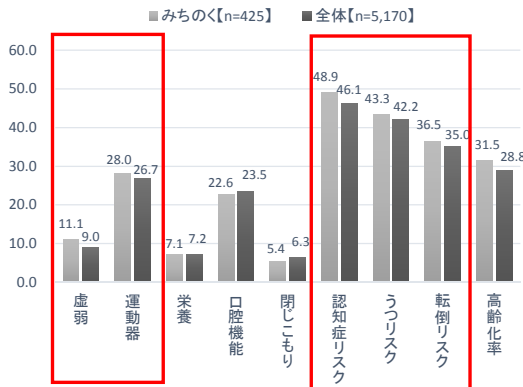
⑩ みちのく地区（平成 29 年 3 月 1 日現在）

圏域内住所：港町、合浦、茶屋町、栄町、花園、浪打、佃 1 丁目、松森 1 丁目、
桜川 1 丁目、造道、東造道、八重田

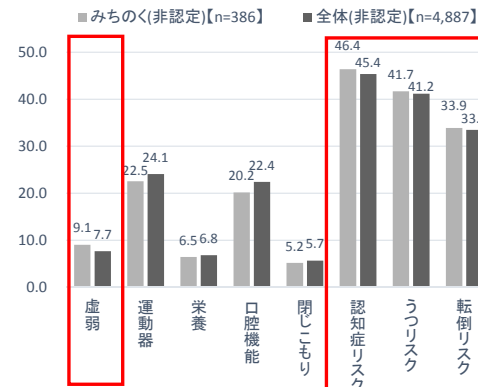
高齢者人口：5,947 人

高齢化率：31.5%

リスク該当者割合・高齢化率

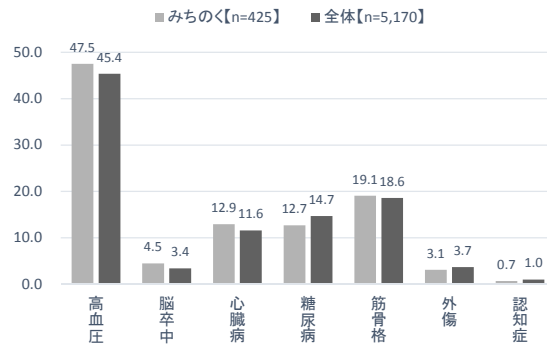


非認定者のリスク該当者割合

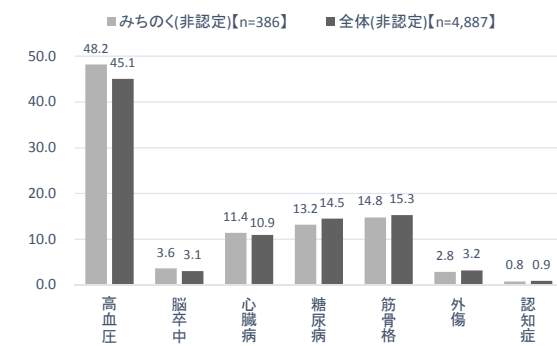


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

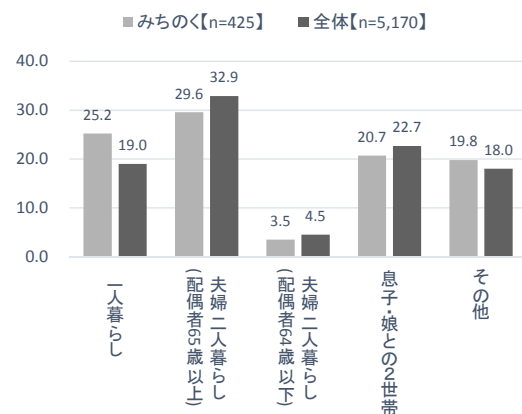
既往症割合



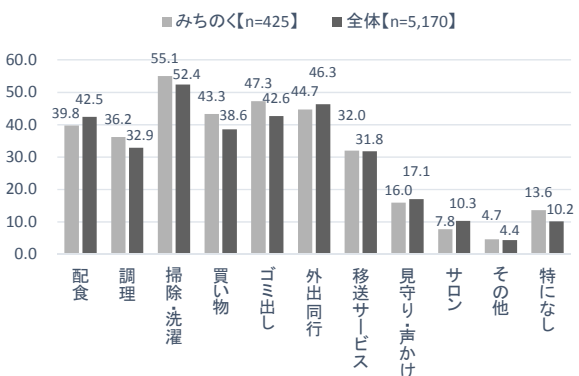
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



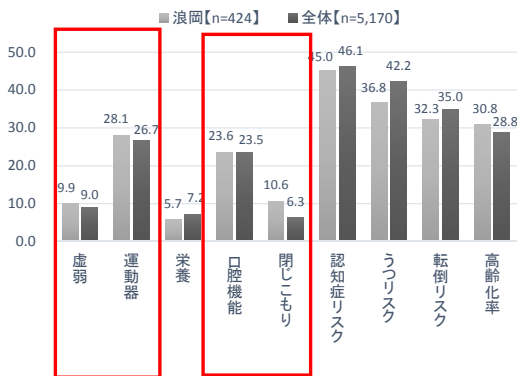
① 浪岡地区（平成 29 年 3 月 1 日現在）

圏域内住所：相沢、王余魚沢、北中野、吉内、郷山前、五本松、下石川、下十川、銀、杉沢、大釈迦、高屋敷、樽沢、徳才子、長沼、浪岡、福田、細野、本郷、増館、女鹿沢、吉野田

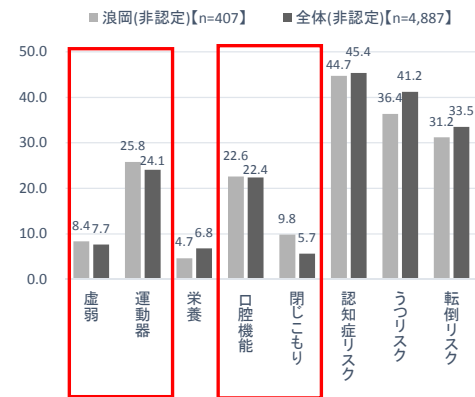
高齢者人口：5,674 人

高齢化率：30.8%

リスク該当者割合・高齢化率

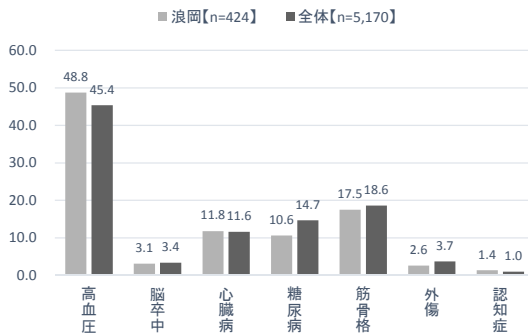


非認定者のリスク該当者割合

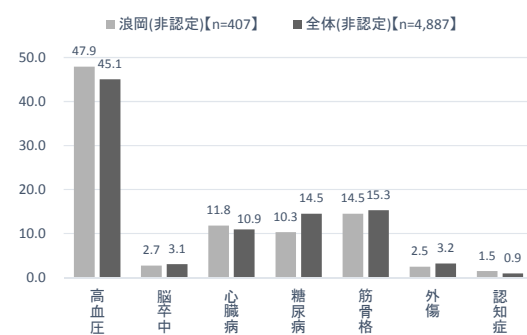


※太枠部分：市全体と比較し、リスクが高い項目

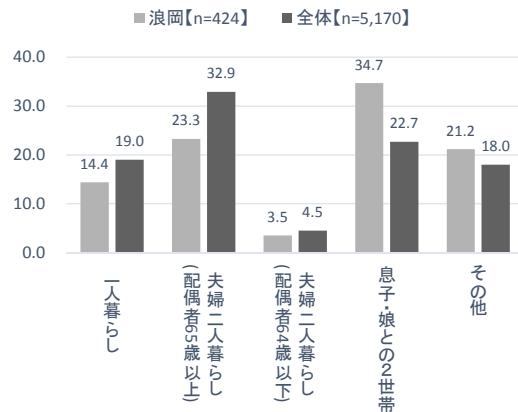
既往症割合



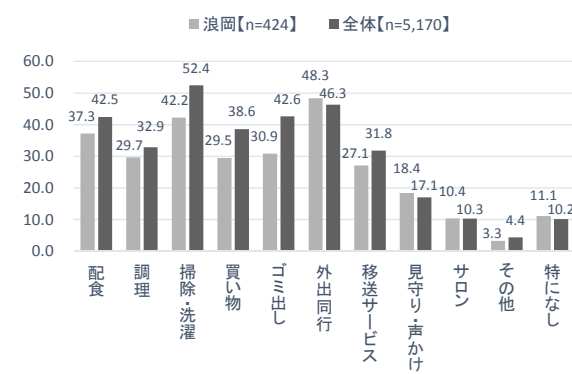
非認定者の既往症割合



世帯類型



自立した生活をする際必要と感じる介護サービス



○基本チェックリストに基づくリスク判定の結果、

新しい総合事業の対象者となる可能性が高い非認定者において、「市全体と比較してリスクの該当割合が高く、リスク該当項目が多い圏域」において、共通するリスク該当項目は、「虚弱」と「運動器」となっています。

また、市全体として、「虚弱」、「口腔機能」、「うつリスク」、「転倒リスク」の該当が多い状況となっています。

⇒これらのリスクを低下させるため、**地域包括支援センターとの連携を強化し、圏域の実情に応じた介護予防を推進することが重要です。**